

市議会 9月定例会

一般会計補正予算案など

二十二議案を可決

市議会九月定例会が、九月四日から十八日間にわたって開かれました。今定例会には「平成二年度一般会計補正予算案」など二十三議案が提出され、審議の結果、次回定例会まで継続して審査されることになった元年度水道・病院の決算認定二件を除く二十一議案が可決されました。また、前回定例会からの継続審査となっていた議員提出の「市議会の定数を減少する条例の一部を改正する条例案」も可決され、閉会しました。

一般会計に 四億二、七五二万円を追加

平成二年度一般会計の歳入と歳出に、それぞれ四億二千七百



歳入

の追加で主なもの、次のとおりです。

五十一万円を追加して、予算総額は百八十一億三千四百四十四万二千円となりました。

▽使用料及び手数料

一、五七二万円

▽国庫負担金 二、〇七三万円

▽国庫補助金 △一億七、七七三万円

▽県補助金 三〇九万円

▽繰入金 三、八五〇万円

▽繰越金 二億七、三六七万円

▽市債 二億四、五一五万円

歳出

の追加で主なものは、次のとおりです。

▽市立総合病院負担金 一億円

▽テクノサテライト企業育成事業補助金 四八六万円

▽ふるさと創生大滝温泉蘇生事業

業費 一、〇五〇万円

・施設管理運営委託料、建物整備委託料など

▽二井田工業団地拡張工事費等 二、四〇三万円

▽道路維持費 四、〇六〇万円

・側溝改良工事費、道路補修工事費など

▽道路新設改良費 四、四三九万円

・道路改良工事費、舗装新設工事費など

▽二ツ山総合公園用地購入費・新設工事費 四、一九三万円

▽大型体育館用地測量委託料 一、八〇〇万円

▽体育施設維持補修工事費 九一〇万円

▽土木施設災害復旧工事費 二、九三二万円

・河川災害復旧工事 五カ所

市議会議員定数を 二人削減

市議会議員の定数を、現在の三十二人から三十人に減少する条例案が可決されました。次の一般選挙から適用されます。

水道・病院会計 元年度決算

元年度の水道及び病院事業会計の決算認定が今定例会に提出され、次回定例会まで企業会計決算特別委員会にて審査されることになりました。収支決算概要は次のとおりです。

水道事業会計の収支決算の概要

◇収益的収支

収入	9億2,410万3,682円
支出	8億7,964万8,873円
差引額	4,445万4,809円

◇資本的収支

収入	5億301万6,195円
支出	7億2,268万9,354円
差引額	△2億1,967万3,159円

病院事業会計の収支決算の概要

◇収益的収支

収入	57億3,507万5,915円
支出	60億5,291万1,105円
差引額	△3億1,783万5,190円

◇資本的収支

収入	2,103万5,150円
支出	2億4,131万8,415円
差引額	△2億2,028万3,265円

(不足額は損益勘定留保資金や当年度分消費税資本的収支調整額で補てんされました)

市長メモ



No.40

攻めの小坂インター

待望の小坂インターがいよいよ十月十二日にオープンとなります。皆さんとともに喜び合いたいと思います。

七年越しの設置運動でありましたが、この運動の本質には、インターを活用して地域経済を活性化させようという大きな目的があったのです。そのインターがいに実現するのですから真意が問われ、そして真価を発揮する時が到来したことになります。地場産業の振興に、企業誘致の条件に、そして観光開発に大きなインパクトになることは間違いありません。

しかし、そんなきれいな話だけではいけません。インターと自分、インターと自分の企業という直接的な攻めの姿勢でなければ、逆に他からの吸引力——スポイト現象でマイナスの作用となりかねません。

いまは競争時代であり、「競創」の時代でもあります。インターの活用創造性を発揮する行動力が求められているのです。

ふるさと創生